

平成31年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年7月6日

上場会社名 株式会社マックハウス 上場取引所 東  
 コード番号 7603 URL <http://www.mac-house.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白土 孝  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統括本部長 (氏名) 杉浦 功四郎 (TEL) 03-3316-1911  
 四半期報告書提出予定日 平成30年7月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第1四半期の業績(平成30年3月1日～平成30年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第1四半期	7,138	△9.4	△58	—	△48	—	△196	—
30年2月期第1四半期	7,880	△11.6	109	△35.0	131	△32.8	2	△97.2

  

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第1四半期	△12.80	—
30年2月期第1四半期	0.19	0.19

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第1四半期	21,357	13,038	60.8
30年2月期	22,291	13,536	60.5

(参考) 自己資本 31年2月期第1四半期 12,995百万円 30年2月期 13,493百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	20.00	—	20.00	40.00
31年2月期	—	—	—	—	—
31年2月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,960	△7.9	△150	—	△140	—	△400	—	△26.08
通期	30,230	△2.0	220	1.8	260	△1.5	△240	—	△15.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

31年2月期1Q	15,597,638株	30年2月期	15,597,638株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

31年2月期1Q	260,813株	30年2月期	260,793株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

31年2月期1Q	15,336,836株	30年2月期1Q	15,336,953株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(3) 追加情報 .....	4
3. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
4. 「参考資料」 .....	9
商品別売上高の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(平成30年3月1日～平成30年5月31日)における我が国の経済は、企業収益の改善、雇用・所得環境の改善により、緩やかな回復基調が続きました。

一方で中・低価格帯のカジュアルウェア市場におきましては、低価格化による競争激化に加え、消費者の生活防衛意識は依然として高く、経営環境は厳しい状況で推移しております。

かかる状況におきまして、当社は、「お客様の暮らしに役立つお店」をスローガンにジーンズカジュアルショップからジーンズを中心としたファミリーカジュアルショップへの脱皮を図ってまいりました。具体的には、競合他社に負けない高品質・低価格のPB(プライベートブランド)ジーンズの販売拡大、多くのお客様にご利用いただけるように低価格雑貨の充実、インナーレグウェアやホームウェアなどの低価格実需衣料の強化に取り組んでまいりました。また、店舗開発におきましては、1店舗当たり売上高増加のために「マックハウス スーパーストア」及び「マックハウス スーパーストアフューチャー」を新規に6店舗出店し店舗の大型化を図るとともに、やや小型化した新業態「マックハウスアーバンストア」の実験店を千葉県船橋市に出店しました。当第1四半期累計期間末の店舗数は、7店舗の出店、4店舗の閉鎖により、413店舗(前年同四半期比14店舗減)となりました。

以上の施策に取り組みましたが、NB(ナショナルブランド)ジーンズが主な来店動機となる古い路面店舗は引き続き苦戦を強いられ、当第1四半期累計期間における既存店売上高は、前年同四半期比8.7%減、既存店客単価は4.7%減、既存店客数は4.2%減となりました。

利益面につきましては、商品調達改革が進んだことにより、売上総利益率は前年同四半期水準で推移したものの、減収の影響により、売上総利益額は前年を大幅に下回りました。

経費面におきましては、販売費及び物流費を中心とした管理費の削減を図りました。

これらの結果、当第1四半期累計期間における売上高は7,138百万円(前年同四半期比9.4%減)となりました。また、営業損失は58百万円(前年同四半期は営業利益109百万円)、経常損失は48百万円(前年同四半期は経常利益131百万円)、四半期純損失は196百万円(前年同四半期は四半期純利益2百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ933百万円減少し、21,357百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ854百万円減少し、14,709百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,482百万円減少した一方で、売掛金が407百万円、商品が390百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ78百万円減少し、6,648百万円となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ435百万円減少し、8,319百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ463百万円減少し、5,564百万円となりました。これは主に電子記録債務が335百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ27百万円増加し、2,754百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ497百万円減少し、13,038百万円となりました。

これは主に、剰余金の配当306百万円を行ったこと等によるものであり、総資産に占める自己資本比率は60.8%となり前事業年度末に比べ0.3ポイント増となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成30年4月11日付、「平成31年2月期決算短信」で公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成30年7月6日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成30年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,457	3,975
売掛金	387	794
商品	8,975	9,365
前払費用	285	317
繰延税金資産	150	162
その他	307	93
流動資産合計	15,564	14,709
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	97	95
建物附属設備(純額)	1,495	1,557
構築物(純額)	16	16
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	215	208
リース資産(純額)	266	249
土地	194	194
その他	0	1
有形固定資産合計	2,287	2,322
無形固定資産		
投資その他の資産		
長期前払費用	155	158
敷金及び保証金	3,672	3,624
繰延税金資産	429	349
その他	6	4
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	4,258	4,133
固定資産合計	6,727	6,648
資産合計	22,291	21,357

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成30年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,850	2,775
電子記録債務	1,291	956
ファクタリング債務	270	161
未払金	273	190
未払法人税等	167	72
未払費用	639	908
賞与引当金	80	120
ポイント引当金	64	61
店舗閉鎖損失引当金	41	40
資産除去債務	9	9
その他	337	266
流動負債合計	6,027	5,564
固定負債		
退職給付引当金	1,517	1,529
転貸損失引当金	115	111
長期預り保証金	182	179
資産除去債務	688	729
その他	223	205
固定負債合計	2,727	2,754
負債合計	8,754	8,319
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,617	1,617
資本剰余金	5,299	5,299
利益剰余金	6,735	6,232
自己株式	△153	△153
株主資本合計	13,499	12,996
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△6	△0
評価・換算差額等合計	△6	△0
新株予約権	43	43
純資産合計	13,536	13,038
負債純資産合計	22,291	21,357



## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
売上高	7,880	7,138
売上原価	3,710	3,357
売上総利益	4,170	3,781
販売費及び一般管理費	4,060	3,839
営業利益又は営業損失(△)	109	△58
営業外収益		
受取利息	2	1
受取家賃	80	79
その他	11	9
営業外収益合計	93	90
営業外費用		
支払利息	0	0
不動産賃貸費用	69	69
その他	2	11
営業外費用合計	72	80
経常利益又は経常損失(△)	131	△48
特別損失		
固定資産除却損	10	0
減損損失	16	34
店舗閉鎖損失引当金繰入額	19	5
特別損失合計	46	39
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	85	△88
法人税、住民税及び事業税	42	42
法人税等調整額	39	65
法人税等合計	82	107
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2	△196

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第1四半期累計期間(自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)

当社は衣料品等小売業並びにその他サービス業務を営んでおりますが、その他サービス業務の重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

## 4. 「参考資料」

## 商品別売上高の状況

商品別	期別 前第1四半期累計期間 自 平成29年3月1日 至 平成29年5月31日	当第1四半期累計期間 自 平成30年3月1日 至 平成30年5月31日	前年同四半期比	増減
メンズトップス	2,029百万円	1,922百万円	94.7%	△106百万円
メンズボトムス	1,552百万円	1,333百万円	85.9%	△219百万円
レディーストップス	916百万円	872百万円	95.2%	△43百万円
レディースボトムス	954百万円	808百万円	84.7%	△146百万円
キッズ	968百万円	894百万円	92.4%	△74百万円
その他	1,459百万円	1,307百万円	89.6%	△151百万円
合計	7,880百万円	7,138百万円	90.6%	△741百万円

(注) 「その他」はビジカジ、インナー・レグ、雑貨等であります。